

むら塾 だより

2020年 冬号

2020年1月7日発行
編集者：土井佑夏

むら塾だよりはむら塾と地域との連携活動の一環で作成しています。

代表挨拶

初春の候、新春のお慶びを申し上げます。昨年中も相川・梨沢地区の皆様方におかれましては東大むら塾の活動をご支援、ご理解を頂き大変お世話になりました。今年も諸活動を行う中で皆様のお力を頂く場面が多々あるかとは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

申し遅れましたが私は昨年11月より東大むら塾の新代表になりました、文科三類2年（文学部西洋史学専修課程内定）の藤枝望音（ふじえだもね）と申します。東大むら塾は私たちの代で5代目になりますが、活動の幅を少しずつ拡大しております。内容面においては、「むらおこしコンテストinふつつ2020」（略称：むらコン）やハーブ開発といった、米・野菜作り以外の活動も始めております。また、活動の範囲も福島県北東の山間部にある飯舘村での活動を新たに今年度始めるなど、新たな挑戦を続けております。

しかし、活動の幅を広げているとはいえ、私たちの代でも相川・梨沢地区としっかり連携して地域活性化に尽力していこうという考えに変わりはありません。その上で、私たちの代では相川・梨沢地区の発信力をより強化していくという点に力を入れて活動に取り組んでいきたいと考えております。地域の皆様と協力しながら地道に相川・梨沢地区の魅力を見つけ・創り出し・発信するということを目指していきたいと思っております。

活動をしていく中でまだまだ至らない点があるかとは思いますが、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





副代表挨拶

平素より大変お世話になっております。東大むら塾の新副代表を務めさせていただきます、理科二類2年（農学部国際開発農学専修内定）の吉山優吾（よしやまゆうご）です。

東大むら塾も相川・梨沢地区で活動を開始してから五年目になります。これまで、地域で実際に農業をすることで農業の厳しさを学びながら、地域のこれからの共に考え話し合いを繰り返してきました。「農業×地域おこし」の活動のなかで、相川・梨沢地区の魅力を学んだと同時に、抱える課題の難しさも実感したことも事実です。

ブランドデザインやふるさと納税など様々な活動を通して、むらおこしの為には相川・梨沢地区の魅力を広めることが重要なのではないかと考えるようになりました。これからも私たちむら塾が発信力を強められるように努力して、地域の魅力を一人でも多くの方に伝えていけるよう活動を続けていきたいと思っております。

私自身もまだまだ至らない点がありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

地域連携部長挨拶

これから1年間、東大むら塾にて地域連携部長を務めさせていただきます、文科一類2年(教養学部地域文化研究分科北アメリカ研究コース内定)の遠藤敬祐（えんどうけいすけ）と申します。

東大むら塾のこれまでの地域連携活動の集大成として、2月には「むらおこしコンテストinふつつ2020」が行われます。その他にも、夏の寺子屋企画や、むら塾だよりといった地域に密接に関わる様々なプロジェクトを統括する者として、それらの活動を通して地域の皆様との繋がりをより密度の濃いものにしていければと願っております。そして、地域と外部を繋ぐ「架け橋」としてむら塾が機能できますよう、誠心誠意取り組んで参る所存です。

日頃の皆様のご支援に感謝致しますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

むら塾だより編集担当挨拶

いつもむら塾だよりをご愛読いただきありがとうございます。新しくむら塾だより編集担当になりました、文科三類2年（文学部社会学専修内定）の土井佑夏（どいゆうか）と申します。むら塾だよりは年4回、地域の皆様に向けて東大むら塾の相川・梨沢地区を中心とした様々な活動を発信しております。今後もむら塾をもっと身近に感じていただけるように尽力いたしますので、お時間ございましたら是非ご一読ください。どうぞよろしくお願いいたします。



新幹部自己紹介

会計

昨年に引き続き会計を務めさせていただきます、理科二類2年（工学部建築学科内定）の山本実南（やまもとみなみ）と申します。

東大むら塾がこの先も安定して相川・梨沢地区の皆様と一緒に活動をしていける環境を金銭面から支えていきます。むら塾がどんなことにお金をかけるべきなのか、皆様のご助言もいただきながら頑張っていきたいと思っております！



広報イベント部長

新たに広報イベント部長を務めさせていただきます、文科一類2年（法学部第一類内定）の山崎茜（やまざきあかね）と申します。私たちは相川・梨沢地区についてより多くの方々に知って頂けるよう、東大むら塾のホームページやSNSを通じて地域や東大むら塾に関する情報を随時発信しております。地域の皆様にもご覧頂けましたら幸いです。また、田植えや稲刈りの合宿運営もしております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。





ブランドデザイン部長

新たに東大むら塾にてブランドデザイン部長を務めさせていただきます、理科二類2年(工学部化学生命工学科内定)の中西優(なかにしゆう)と申します。

ハーブを栽培し商品化することを主軸に、むら塾が出店する屋台の装飾やむら塾を紹介するパンフレットの制作も手掛けています。今後ともよろしくお願い致します。



販売部長

新販売部長を務めさせていただきます、文科二類2年(法学部第3類政治コース内定)の山住友利恵(やますみゆりえ)と申します。今年度の販売部では昨年から引き続き五月祭、富津市花火大会、駒場祭への出店と、ふるさと納税関連のイベントを担当します。新たな試みをしていく中で至らない点も多いと思われませんが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



農業部長

新たに東大むら塾にて農業部長を務めさせていただきます、理科二類2年(農学部応用生物学専修内定)の和田真輝(わだまさき)と申します。

東大むら塾では、相川で土地をお借りして、春夏秋冬の野菜やむら塾が地域の方と協力してブランド化した米であります「てとて」の栽培を行っております。

未熟ではございますが、元気に頑張っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



新地域部長

新地域部の部長を務めさせていただきます、文科一類2年(法学部内定)の吉良倫太郎(きらりんたろう)と申します。よろしくお願い致します。

東大むら塾は発足以来、千葉県富津市の相川・梨沢地区を拠点に活動して参りましたが、新地域部では相川・梨沢地区と並ぶ新たな拠点を築くための活動しております。



むらおこしコンテスト inふつつ2020 報告

むらおこしコンテストinふつつ2020企画責任者を務めております、法学部3年の佐野達哉(さの たつや)です。前号では「アワード企画」と称していましたが、本号からはようやく正式名称での呼称となります。

いよいよ2月の開催日まで1ヶ月を切り、準備も慌ただしくなってきました。今回の活動報告で、10月から12月までの本企画の経過をご報告させていただきます。

まず、参加者募集を11/15で締め切り、最終的に総勢24人の学生の方々にご参加頂くこととなりました。嬉しいことに、関東のみならず近畿や東北、九州からもお申込み頂き、メンバー一同小躍りしております。学生の方々に満足して頂けるよう、鋭意努めてまいります！

次に、今回むらコンにご協力頂く受入区が決定いたしました。金谷・竹岡・天神山・湊・峰上からそれぞれ1つの区にご協力頂くことになり、今後はこの5区を中心に準備を進めてまいります。この決定ができましたのも皆様のおかげであり、誠に感謝申し上げます。

最後に、最終発表会についてご案内させていただきます。2020年2月11日(火)13:30より、富津市民会館にて最終発表会を行います。天羽の住民の方々には観客兼審査役としてご参加頂き、学生の考案したプランに投票して頂きます！新たな天羽の可能性を知ることができる良い機会であります。是非お越しください。



ハーブ開発報告

ブランドデザイン部長の中西優です。今年度はレモングラスとパクチー、カモミールを試験栽培しました。結果として、レモングラスは125株定植し、パクチーは収穫済み、カモミールは播種した直後に台風19号が直撃したため発芽しませんでした。

正直に言って芳しい結果ではありませんが、来年度は確実な商品化を行います。それに向けてハーブ農家の視察や加工工場の訪問も行う予定です。相川ブランドのハーブ商品開発に向けて邁進してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



クラウドファンディング結果報告

クラウドファンディング責任者兼会計の山本実南です。この度、10月28日に東大むら塾のクラウドファンディングプロジェクトの公開が終了となりました。皆様の温かいご支援のおかげで目標金額の40万円を達成(最終金額40万6千円)することができました！本当にありがとうございました。

この度のプロジェクトはむらおこしコンテストの開催資金調達が達成されたのみならず、今までむら塾を知らなかった多くの方々にむら塾のことを知っていただき、応援していただく大変貴重な機会ともなりました。

地元の皆様の温かい応援をはじめ、本当にたくさんの方々がむら塾の活動を応援してくださっていることを実感することができたことは、メンバー1人1人の心の支えとなっています。クラウドファンディング目標達成を糧にして、むらおこしコンテスト成功に向け、今後もメンバー一丸となって頑張ります！

駒場祭報告

東京大学の学園祭「駒場祭」での出店を担当しておりました、理科二類1年の下山結衣(しもやまゆい)です。

今年の駒場祭は11月22日から24日の3日間で行われ、地域の方の野菜や加工品、そして私たちが地域の方にご協力頂きながら田植えから育てたお米を使った、米粉パンケーキを販売しました。

1日目と2日目は雨や寒さのせいか、東大むら塾のブースに足を止めてくれる人は多くはなく、どうなることかと先行きが不安視されました。しかし最終日は2日間の雨を忘れさせるほどの良い天気。最終日だけで米粉パンケーキは500枚以上、3日間合わせるとおよそ1000枚を売り上げました。これは目標としていた"3日間で800枚"を大きく上回るものでした。

今回の駒場祭が多くの方に東大むら塾の活動を知っていただく機会になったのではないのでしょうか。また駒場祭を通して、むら塾メンバー内の繋がりもより広く、そして深くなったと思います。ご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。また今年の五月祭、駒場祭でもよろしく願いいたします。

ふるさと納税・ — — — — — ふるさとチョイス大感謝祭報告

お世話になっております、東大むら塾でふるさと納税を担当させていただいております理科二類1年の碓井善智(うすいよしのり)と申します。

今年も、むら塾で作ったお米「てとて」をふるさとチョイスというふるさと納税のサイト上で出品しております。10kgについては17000円の寄付に対して、3合×10袋については10000円の寄付に対して返礼とさせていただいております。すでに多くのご注文をいただき、精米、選別を終えたお米を袋詰めし、随時購入者様へ発送させていただいております。精米、選別などでお世話になっております地域の皆様、改めて感謝申し上げます。

さて、11月16、17日にパシフィコ横浜で行われた、ふるさとチョイス大感謝祭に参加してきました。大感謝祭では富津市ブースにて私たちが作ったお米を掬いどりの形式で販売しました。1日目は売り上げがあまり伸びず不安の残る一日となりましたが、2日目の健闘の結果、ブースに運んだお米240kgをほぼ売りきることができました。ご協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。さらに、大感謝祭で資料をご覧になった、富津市で農業をしていらっしゃるお客様から交流のご提案をいただいたり、お客様からお礼のメールをいただいたりするなど、東大むら塾を多くの人に知っていただく良い機会になったと思われまます。ありがとうございました。

ふるさと納税の活動はまだまだ続きますので今後ともご協力よろしくお願ひいたします。



農業報告 — — — — —

農業部長の和田真輝です。現在、東大むら塾では相川区長の神子清志様の畑を一部お借りして、白菜や大根等々の冬野菜の栽培を行っております。農業の楽しさや野菜の美味しさ、そして何より農作業を通じて地域をより身近で感じられる活動として、数多くのむら塾メンバーが参加しています。

現状は野菜に大きく目立った障害もなく安心しておりますが、寒さに負けないよう慎重に的確な措置をとってまいります。

まだまだ野菜を育てる知識も経験も浅い我々ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

飯舘村プロジェクト報告 — — —

新地域部長の吉良倫太郎です。私たち東大むら塾が新たに活動をはじめました、福島県相馬郡の飯舘村でのプロジェクトの進捗と今後の活動計画についてご報告させていただきます。

飯舘村での活動報告の前に、改めて東大むら塾の新地域部が目指していることをお伝えいたします。これまで、東大むら塾は千葉県の相川・梨沢地区を拠点とし活動して参りましたが、今年度から新たな地域を開拓している理由は

①東大むら塾の活動を広げていくため

②別の地域に触れることで、従来地域（相川・梨沢地区）と新たな地域（飯舘村）とに相乗効果をもたらすため

の大きく2つです。特に②を重視しており、これまでの相川・梨沢地区での活動のノウハウを新地域での活動に生かすとともに、新地域で活動することで得た新たな気付きや経験を相川・梨沢地区での活動に持ち帰ることを目指しています。

次に活動報告に入ります。6月以来飯舘村への訪問は15回以上を数えますが、この半年間は蕎麦の栽培と村民の方を招いての意見交換会を行いました。蕎麦の栽培は前回のむら塾だよりで報告した通り、台風の影響もありましたが無事に収穫・脱穀・製粉を終えました。

その後、村民の方に教えていただきながら私たちの蕎麦粉を用いて蕎麦を打ち、この手打ちそばを村民の方に振る舞いました。同時に、半年間の飯舘村における活動と今後のビジョンを村民の方に報告しました。この会は飯舘村農業委員会の協力を得て実現したもので、東大むら塾の活動をより多くの方に知ってもらうとともに、今後の活動の方向性が見えた非常に有意義な機会となりました。

今後の活動としては

①マップづくり（住民の方へ聞き取りし、それをわかりやすく発信する）

②蕎麦栽培の継続と秋の収穫祭開催

③村の中心部での景観作物栽培

を予定しております。上記3つの活動を通じて、より深く・広く飯舘村について理解するとともに、より多くの方に東大むら塾の活動を認知していただくことを目指して活動していきます。



東大むら塾はSNSでも活動を発信しています。



<https://www.facebook.com/todaimurajuku/>

https://twitter.com/todai_murajuku

<https://www.instagram.com/today.murajuku/>